

令和元年度第1回開催！

7月22日令和元年度第1回ざまライフボート協議体がサニープレイス座間にて開催されました。

今年度の協議体では、昨年まで協議してきた3つの課題について、それぞれのグループごとにディスカッションを行いました。

今年で3年目となるこの協議体は活動を加速させるために、3つの課題に対する解決策の実現に向けて本格的に動き出しました。



3つの課題

課題

主な内容

買い物難民



高齢化や町内にあった小売業の閉店などの環境が複合的に絡み合い、買い物などの生活行為が難しい事への対策。

また、座間市商工会とも協働で課題に向けた検討を行う事としている。

地域のつながり



地域における孤立・孤独死問題や、8050も踏まえ、繋っている人が繋がりを続けるために。繋がっていない人が繋がるために。地域の見守り活動やサロン活動の情報を整理、活用などを検討する。

駐車場問題



高齢者の地域生活を支える重要な役割を持つ在宅支援サービス事業者が駐車するスペースが確保できず、取り締まり対象になる事例有。座間市在宅医療推進協議会ワーキンググループとの合同プロジェクトとして今後検討する予定。

今後は、各グループにおいて個別の協議を進め、ライフボート協議体開催時に進捗の報告を行う予定となります。それぞれの活動については、第1層生活支援コーディネーターで取りまとめを行い、情報共有を行う予定です。

ざまライフボート協議体は18時から20時に年間4回(6/13・8/22・11/28・2/27)の予定で開催していきます。ご興味のある方がいらっしゃいましたら、是非ご参加ください！

発行：社会福祉法人座間市社会福祉協議会 第1層生活支援コーディネーター
座間市緑ヶ丘1-2-1 TEL 046-266-2009 FAX 046-266-2009
Mail zama-lifeboat@zamashakyo.jp

ライフボート
ニューズレター

VOL1
2019.7



駐車場グループ



見守り問題（地域のつながり）ではグループ内で話し合いを進めていく中で、「繋がっていない人をどう繋げるか」に話が集中しました。高齢者や子育て世代など年齢に限らず、地域に馴染めていない人が既存のコミュニティに入り辛く、最初の一步を踏み出せずにいる人をどうケアするか、そこをケア出来るような仕組み作りが必要なのではと意見が出ました。

【発表者】

座間市福祉部生活援護課
倉根 悠紀 氏

駐車場問題では、グループ参加者が直面している重い課題であることがわかりました。

課題として、ワーキンググループ（WG）との協働の仕方や個人の駐車場を借りるシェアパーキングの案も出ましたが、事故にあった場合など、課題が残るとの意見が挙がりました。

他社の活動事例などを参考にしながら、今後貸す側・借りる側でのお金の仕組み作りを作っていく話し合いを進めていけたら良いのではと意見が出ました。

【発表者】

NPO法人 ワンエイド
松本 篝 氏

地域のつながい



買い物難民



買い物問題では「暮らしにやさしい応援隊」の冊子の発行に向けて今後も活動を進めていく事を誓い合いました。

既に冊子の見本やフェイスシート、募集のチラシは完成している段階です。今後も冊子の発行に向けて進めていく予定です。

【発表者】

カエルファクトリー
佐藤 洋行 氏



次回のライブポート協議体は

11月28日木曜日

18時～20時 サニープレイス座間

にて開催予定です！